

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年7月10日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年7月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【大型機器点検建屋内フランジタンク除染設備スクリーコンベア内への清掃用具落下について】 大型機器点検建屋内フランジタンク除染設備の清掃作業中にスクリーコンベア内へ清掃用具(自在ホーキの先端部分)を落下させてしまい、その後回収した。 設備に異常なし。	GⅢ
2	【敷地境界モニタリングポストNo.7付近の連続ダストモニタの警報発生について】 敷地境界モニタリングポストNo.7付近に設置している連続ダストモニタの2台のうち、1台にモニタ「高」警報が発生した。 確認の結果、同ヶ所に設置しているもう1台の連続ダストモニタおよびモニタリングポストNo.7, その他連続ダストモニタの指示値に変動はなかった。 念のため、当該連続ダストモニタを予備機に交換した。 なお、警報を発生した連続ダストモニタのダストろ紙の分析結果、人工核種、天然核種ともに検出はなし。 また、当該ダストモニタにも異常は確認されなかった。	GⅢ
3	【6号機残留熱除去海水系(B)ストレーナ差圧計出口側元弁の腐食について】 6号機残留熱除去海水系(B)ストレーナ差圧計の出口側元弁の本体外観に腐食が確認されたため、点検、修理を実施予定。 なお、当該弁の開閉操作に異常なし。	GⅢ
4	【6号機残留熱除去海水系海水ポンプ(A)用電動機冷却水ストレーナのドレン配管接続部からの漏えいについて】 6号機残留熱除去海水系海水ポンプ(A)用電動機の冷却水ストレーナのドレン配管接続部より冷却水の微小漏えいが確認されたため、当該配管接続部を点検、修理予定。 なお、当該冷却水は、ポンプ運転中のみ供給されるため、当該ポンプ待機状態(停止)での漏えいはなし。	GⅢ